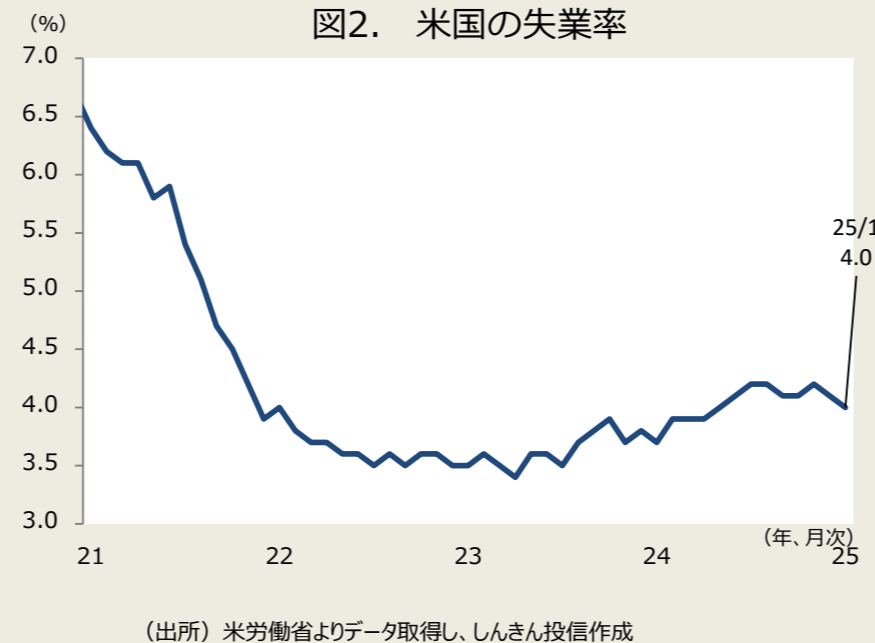
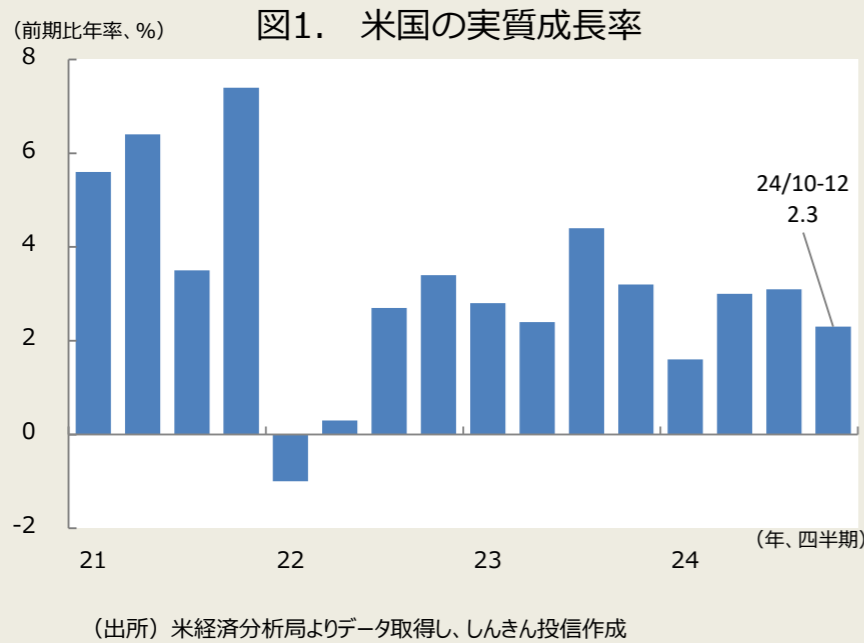


海外経済の現状と見通し : 2025年 2月

米国

10-12月期の実質国内総生産（GDP、図1）成長率は前期比年率+2.3%と、前期（同+3.1%）から減速しましたが、個人消費は伸びが拡大するなど、米景気力の強さを示す内容でした。また、2024年の成長率は、前年比+2.8%となりました。2025年についても、底堅い雇用環境を支えに個人消費がけん引役となり、2%台前半の成長が見込まれます。

1月の失業率（図2）が4.0%と前月から低下するなど、雇用環境は底堅い状況です。米連邦準備理事会（FRB）は、1月会合において、4会合ぶりに政策金利を据え置き、利下げを急がない姿勢を示しました。今後も当面の間、政策金利を据え置き、米国経済の動向やトランプ政権下での政策による影響を見極めるとみられます。



米国の景気・物価・金融政策の見通し

	(実績)			(予測)				(前期比年率、前年比、%)	
	2023年 (実績)	2024年	2025年 (予測)	2024年 7-9月期	10-12月期	2025年 1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期
実質成長率	2.9	2.8	2.2	3.1	2.3	2.1	2.0	2.0	2.0
PCE価格指数	4.2	2.8	2.5	2.7	2.8	2.5	2.5	2.5	2.4
政策金利	5.50	4.50	4.00	5.00	4.50	4.50	4.25	4.25	4.00

(注)シャド一部分は実績値、予測はしんきん投信。実質成長率(四半期)は前期比年率。PCE価格指数はコア(食品とエネルギーを除く)。政策金利は上限金利、期末値
(出所)米商務省、米労働省、FRBよりデータ取得し、しんきん投信作成

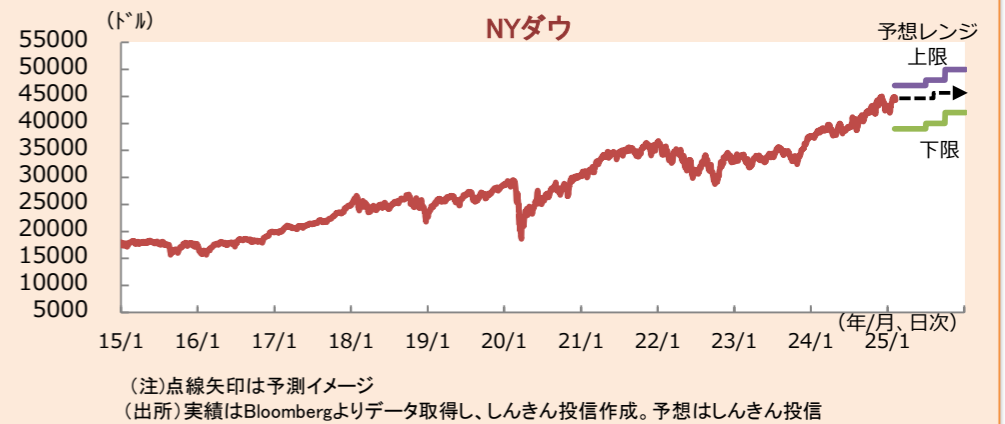
金融市場見通し

【予想レンジ期間】(2025年2月~2025年12月)

米株式相場

【予想レンジ】 NYダウ: 39,000~50,000ドル

◆底堅い米経済が支えとなり、堅調な動きとなりそうです。



米長期金利

【予想レンジ】米10年債利回り 3.9~5.2%

◆FRBの利下げペースが緩やかななかで、高止まりしそうです。



為替

【予想レンジ】ドル円レート 140.0~163.0円

◆米金利の高止まりにより、ドル安の進行は緩やかなものになりそうです。



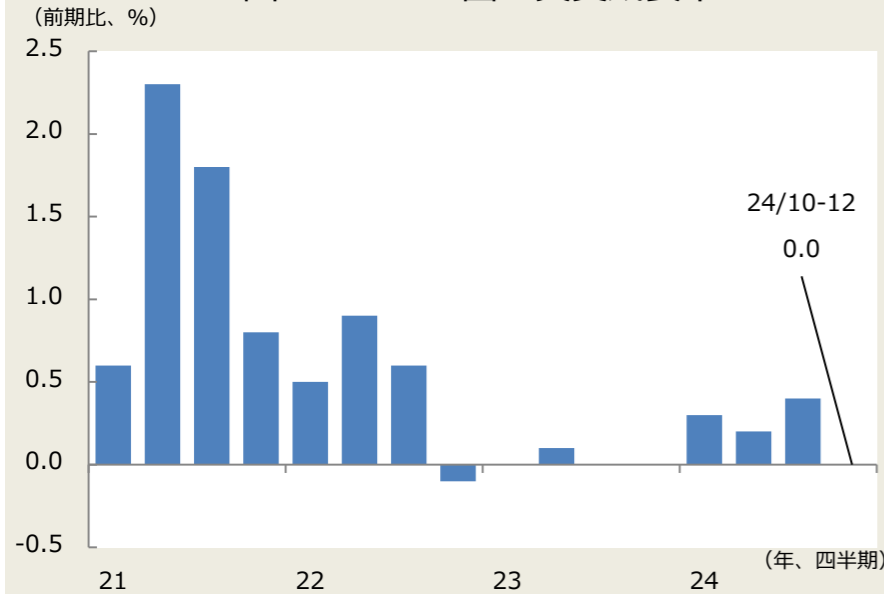
海外経済の現状と見通し : 2025年 2月

ユーロ圏

10-12月期の実質国内総生産（GDP、図1）は前期比+0.0%と、前期から横ばいでの推移となりました。国別では、経済規模の大きいドイツ（同0.2%減）、フランス（0.1%減）がマイナス成長となりました。先行きについては、利下げの影響の顕在化により内需が持ち直すことで、2025年は+1%程度の成長が見込まれますが、米国の通商政策が景気の下押し圧力を強める恐れがあります。

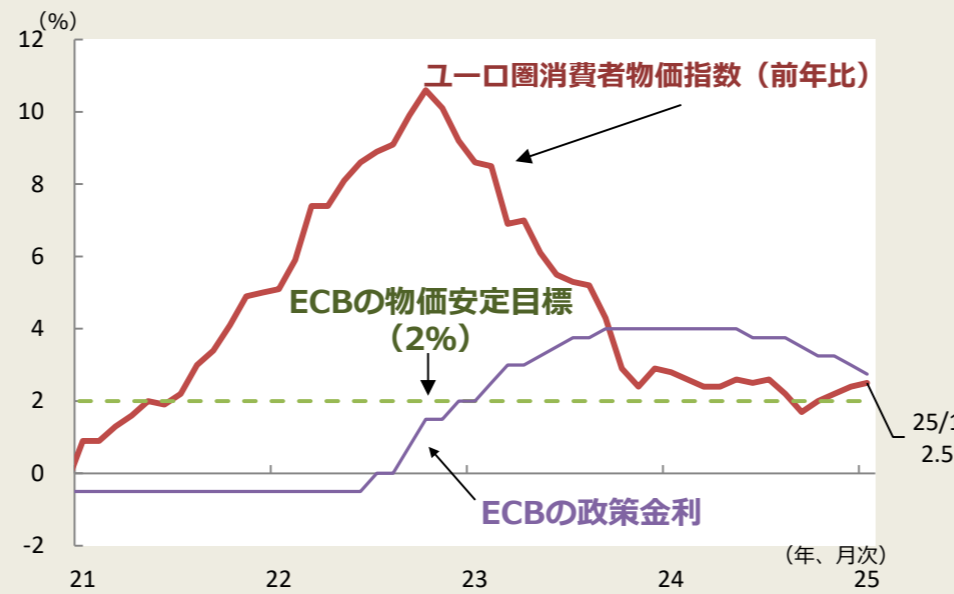
1月の消費者物価指数（図2）の伸びは前年比2.5%と、振れを伴いながらも、欧州中央銀行（ECB）の物価安定目標である2%近くで推移しています。ECBは、1月会合で0.25%ポイントの利下げを行いました。景気後退懸念がくすぶるなかで引き続き追加利下げを実施する見込みです。

図1. ユーロ圏の実質成長率



(出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

図2. ユーロ圏のインフレ率と政策金利



(注) ECBの政策金利は、預金ファシリティ金利
(出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

ユーロ圏の景気・物価・金融政策の見通し

	(実績)			(予測)				(前年比、%)	
	2023年 (実績)	2024年	2025年 (予測)	2024年 7-9月期	2024年 10-12月期	2025年 1-3月期	2025年 4-6月期		2025年 7-9月期
実質成長率	0.4	0.7	1.0	0.9	0.9	1.0	1.1	0.9	1.1
消費者物価	5.5	2.4	2.1	2.2	2.2	2.2	2.1	2.0	2.0
政策金利	4.00	3.00	2.00	3.50	3.00	2.50	2.00	2.00	2.00

(注) シャドー部分は実績値、予測はしんきん投信。消費者物価は総合。政策金利（預金ファシリティ金利）は期末値
(出所) 欧州委員会、ECBよりデータ取得し、しんきん投信作成

金融市場見通し

【予想レンジ期間】(2025年2月~2025年12月)

独株式相場

【予想レンジ】DAX: 17,000~23,000ポイント

◆独景気が力強さを欠くなかで、上昇余地は限られそうです。

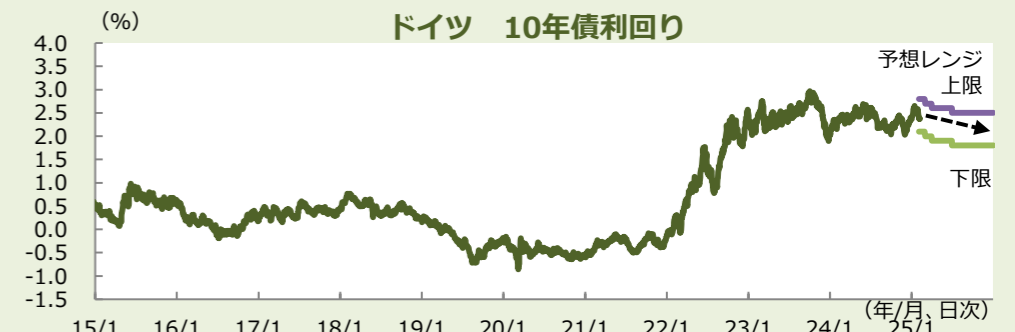


(注) 点線矢印は予測イメージ
(出所) 実績はBloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成。予想はしんきん投信

独長期金利

【予想レンジ】独10年債利回り 1.8~2.8%

◆ECBの利下げを受けて、緩やかに低下しそうです。

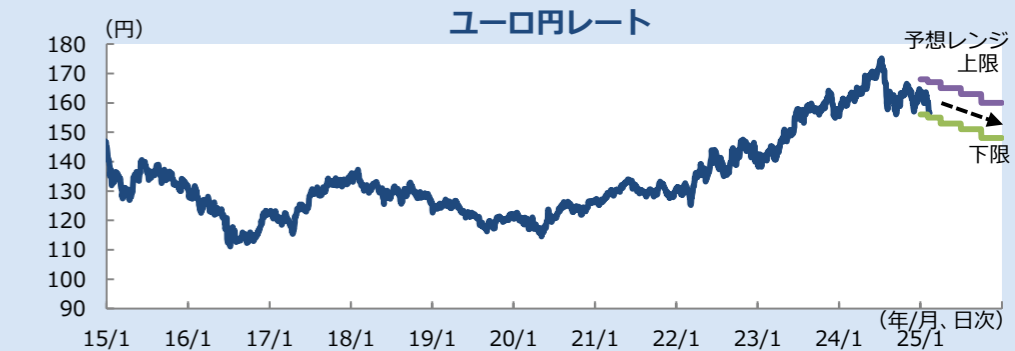


(注) 点線矢印は予測イメージ
(出所) 実績はBloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成。予想はしんきん投信

為替

【予想レンジ】ユーロ円レート 148.0~167.0円

◆ECBの利下げや日銀の利上げが意識され、ユーロ安円高が進みそうです。



(注) 点線矢印は予測イメージ
(出所) 実績はBloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成。予想はしんきん投信

(2025.2.10 エコノミスト 北辻 宗幹)



＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。

※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

※投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

【お申込みに際しての留意事項】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

(お客様に直接ご負担いただく費用)

◆ご購入時の費用…購入時手数料 上限3.3%(税抜3.0%)

◆ご換金時の費用…信託財産留保額 上限0.3%

(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)

◆運用管理費用(信託報酬)…純資産総額に対して、上限年率1.628%(税抜年率1.48%)

◆その他の費用…監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用(手数料等)の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくお読みください。